

力を見直すことができ、本当に今、この時間を全力で生きてるなーと思えるからです。海外へ行き、いつも一番思うことは、最高に楽しい時間を作りたいなら、自分の殻をやぶることだと僕は思います。海外にはまる前の自分は自分で自分の限界をすぐきめ、失敗を恐れる性格でした。しかし、ヨーロッパやアメリカのひとを見てみると、彼らはもっと自由に物事を考えていて、とにかく人とコミュニケーションをとることが好きです。そんなかれらに感化され、間違えてもいいや！いや、むしろ間違えなきゃ学べない！と思い、実際に行動に移せたとき、僕は自分の殻をやぶることができた気がつきました。日本だったら、こんなこといったら空気読めないやつっておもわれるなーとか色々気にしてしまうことは日々の生活で山ほどあると思います。しかしそのもやもやした気持ちを実際に行動して解消できた時、信じられないほど気持ちよく、また大きく成長できると思います。そして海外ではその旅をいかに面白くするかは、すべてこの自分の殻を破れるかどうかだと思います。この経験が僕を海外の虜にした最大のものだと思います。次の旅はどんな経験ができるのだろうかと思うとドキドキがとまりません。

2年次の近況報告

照屋 翔二郎 (2年次)

同窓会の皆様、初めまして。医学科2年次の照屋翔二郎と申します。私達は10月から後期が始まりました。後期の授業は前期と比べると量が多く内容も段々難しくなってきました。また、それにつれてテストの難易度も上がっており、怒涛のテストラッシュに今喘いでいます。テストが一つ終わった後にこれを書いているのですが、もう次のテストまで一週間もありません。部活やバイトとの両立もしなければならず、「時間は作るもの」という言葉を痛感しています。

今まで授業や勉強が辛いとまるで愚痴をこぼすようなことばかり述べてきましたが、辛い事ばかりではなく興味を引かれる事もたくさんあります。特に9月末から始まっている解剖実習は、毎回毎回が新しい発見の連続です。本で見るのと実際に見るのとでは全く違うので、非常に勉強になっています。また、後期になってからは一人で勉強するより友達と一緒に勉強する事が多くなりましたが、そのおかげでみんなお互いに協力することの大切さを感じるようになりました。こういった勉

強や経験を経ることで、自分は医師になる為の道を少しずつ歩んでいるのだということを最近自覚するようになってきました。

まだ後期は始まったばかりで忙しい日々がこれからも続いていくことでしょう。勉強する気が起きず遊びたくなってしまう事も多々ありますが、モチベーションを高く持って、忙しい事を楽しみながらこれからも頑張っていきたいと思います。



1年近況報告

能美 康彦 (1年次)

皆様ご無沙汰しております。1年の能美康彦から近況報告をさせていただきます。

■夏期休業

はじめての「なつやすみ」!! 高校時代から比べれば1.5倍、既に現場の第一線で働いていらっしゃる方々からみたら垂涎モノの長期休みですね。夏休み前半は各種部活に所属している学生達は西医体に参加するついでに日本全国を旅行していました。同時に熱医研のタイ研修・カンボジア研修に参加し世界へと足場を広げていた学生も多かったようです。長期旅行が出来るなんて大学生の内しかないわけですからドンドンいっておかないと損ですね。

1年全員が、だいぶ顔と名前も一致して来ており、仲の良いグループで飲み会や小旅行に繰り出しているメンバーも多かったですね。私も夏休みは沖縄の離島に繰り出し夏休み気分を満喫致しました。

最後に改めて私事で恐縮ですが、この夏一番の思い出は、第二内科の益崎先生の下で同じく1年の中込哲平と様々な経験をさせて頂いたことです。運動療法、教授回診、動物実験施設の見学そして